

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 3 月 24 日

事務事業名		いばらき北関沿線地域活性化協議会参画事業		事業区分		担当	
				新規/継続		事務事業No. 060305000283	
				単独/補助		010201	
政策体系		政策体系上の位置付け		主要事業		所属課	
総合計画の施策名		0603 時代に合った自治体運営		市長マニフェスト		企画課	
政策名		06 みんなで築く自治のまちづくり		未来PJ事業		企画グループ	
施策名		03 時代に合った自治体運営		合併建設計画事業			
手段名		05 ⑤広域連携の推進		事業期間			
		財務会計上の位置付け		単年度繰返し (平成19年度～)			
予算科目		会計 科目 事業 細		一般会計			
01 02 01 08 01 00				企画事業		→ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入	
法令根拠							

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
茨城県における北関東自動車道沿線地域の活性化を図るため、茨城県及び北関東沿線9自治体、NEXCO東日本を構成団体とする、いばらき北関沿線地域活性化協議会が組織され、沿線の地域資源を活用した広域連携による誘客・周遊促進、インターネット等を利用した情報発信・情報収集、集客施設等と連携した誘客促進を実施している。 (構成団体) 茨城県・水戸市・笠間市・ひたちなか市・筑西市・桜川市・小美玉市・茨城町・大洗町・東日本高速道路株式会社関東支社	・担当会議への参加 ・地域資源を活用した広域連携による誘客・周遊促進 桜川市の上野沼やすらぎの里で開催されたイベント「森コミいち」を支援し、桜川市産パン用小麦「ユメシホウ」のPR、市内外の出店者のクラフト展示、販売等、116店舗が出店し、約2,000人の来場者で賑わった。また、ひたち海浜公園で開催されたオータムフェスティバル2014において、観光パンフレットの配布、ステージでの桜川市のPR等を実施した。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
・担当会議への参加 ・地域資源を活用した広域連携による誘客・周遊促進	担当者会議開催数	回	2.00	3.00	3.00	3.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
いばらき北関沿線地域活性化協議会構成団体	構成団体数	団体	11.00	11.00	11.00	11.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
北関沿線自治体との連携による地域資源のネットワーク化	連携PR実施回数	回	3.00	5.00	5.00	5.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移		28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	期間限定 総投入量
投入量	事業費	国庫支出金 千円	0	0	0
		県支出金 千円	0	0	0
		地方債 千円	0	0	0
		使用料・手数料 千円	0	0	0
		その他 千円	0	0	0
		一般財源 千円	80	80	80
	事業費計(A) 千円	80	80	80	
人件費	正規職員従事人数 人	2.00人	2.00人	2.00人	
	述べ業務時間 時間	200.00	200.00	200.00	
	人件費計(B) 千円	585	585	585	
トータルコスト(A)+(B) 千円		665	665	665	

事業費の内訳	29年度事業費実績(千円)			30年度事業費予算(千円)		
		合計	80		合計	80

(4) 当該年度の実施内容	30年度の事業内容	31年度の事業内容	32年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業			

事務事業名	いばらき北関沿線地域活性化協議会参画事業	事務事業No.	60305000283	所属課	企画課
-------	----------------------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 平成19年度に茨城県及び北関沿線9自治体、NEXCO東日本を構成団体とする、いばらき北関沿線地域活性化協議会が組織された。 平成20年4月12日に桜川筑西1C～笠間西1C間が開通し、平成20年12月20日桜川筑西1C～真岡1C間が開通、東北道と常磐道がつながり、平成23年3月19日には全線が開通した。	
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 北関協議会が支援した平成25年度「森コミいち」においてアンケートを実施し、「また来てみたいと思いますか」の設問に対し、回答者48名中46名が「思う」と回答している。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
改革改善を行う	商工観光課及び観光協会と連携し、効果的なPR活動を実施する。 負担金の減額について検討を求める PR活動の際に、各自治体のゆるキャラが参加することがあるが、桜川市には公認のゆるキャラが存在しないため、商工観光課と連携し、石匠の見世蔵でデザインされたキャラクターであるいしおさんに協力を依頼する。 負担金の金額については、協議会で決定することであるため、構成団体と協議する。

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 広域連携による誘客・周遊促進であり、近隣自治体との連携強化に結びついている。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 地域情報のPR、周辺自治体との連携であり、妥当である。
有効性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 協議会として新たな広域的企画・仕掛けづくりに取り組むことにより、誘客・周遊を促進する余地がある。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 北関沿線の自治体やNEXCO東日本との連携する機会が減少する。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる 北関沿線自治体による連携は他にないが、観光PRが主となる場合、商工観光課が実施しているPR事業と連携できる可能性がある。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある 協議会の実施事業を見直し、負担金を減額できる可能性がある。 担当者会議や桜川市PRのため出張することが多く、必要最低限の業務時間である。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 北関沿線地域の活性化が目的であり、桜川市全体のPRにもつながるため、公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	当市の上野沼やすらぎの里で開催されたイベント「森コミいち」を支援した。次年度も「森コミいち」の支援を協議会構成団体に提案することにより、桜川市のPRにつながる。 協議会の活動としては、観光PRが多いため、商工観光課及び観光協会と連携する必要がある。また、協議会の実施事業を見直し、負担金の減額について検討を求めなければならない。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		（複数回答可） <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加		○													
成果	向上 維持 低下	コスト																								
		削減	維持	増加																						
	○																									
		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果																								
		コスト削減優先度評価結果																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>